

# 私たちの中にいる生き物 私たちをとりにかこむ生き物

動植綵絵から鳥獣戯画へさかのぼる

地球環境京都会議

加藤尚武

# 1、地図と空間の違い

- 京都では、町から山が見えるから、東西南北の方向を間違えることがない。
- 京都の地図には、「鴨川の右岸、左岸」という表記を見ることがある。「右京区」、「左京区」、「上がる」、「下がる」などという表記はふつうの地図の上にはない。
- 「パリの左側はどこですか」と聞いたら、気がくるっていると思われるだろう。
- 歴史の年表には「過去と現在と未来」という表記がない。年表には時間がない。地図には空間がない。

## 2、錦市場から大原へ

- 京都には空間がある。「右」、「左」、「上がる」、「下がる」は、私の身体を基準にした方向で、これは空間がある。
- そして都市の生活の周りに山や農村がある。
- 伊藤若冲が、錦市場の八百屋さんで大原の田んぼを覗いて水の中の絵を描いたというのは、こういう京都の空間の存在感に基づいている。

### 3、水辺の生き物



## 4、誰もが主役

- 登場するのは、カエルやヤモリや毛虫だけれども、主役と脇役の区別がない。この点が「鳥獣戯画」とは違う。
- 「出てくるものがみんな主役」という特徴がある。主人がいてそれにつかえる部下がいるという世界ではない。
- 花が主役かと思うと虫食いのあとのある落ち葉も主役。鶏が主役かと思うと、鶏が踏んづけている朝顔も主役。
- 全部、同じ密度で描かれている。

## 5、聖人の世には、棄材なく、棄物なし

- 日野龍夫氏によると「聖人の世には、棄材なく、棄物なし」という老子の思想が江戸時代に広まったという。
- 「人について、才能を棄てることがある。物について、用をすてることがある。
- 無用、余分に見える物にも、存在の分がある。
- こうした存在の分をまっとうさせてやらないなら、万物の性を棄てることになる。」

## 6、孔子は合格者、老子は不合格者

- 捨てる人は、捨てられたものが、おなじ世界に生き残っていることを忘れている。廃棄物は別の世界に消滅するのではなく、同じ世界に化石燃料の廃棄物は温暖化の原因ガスとなって、私たちの生態系を脅かす。
- 棄てるものがないようにすること（ゼロ・エミッション）は、人類が生き続けるために不可欠な追求目標である。
- 「捨てるな」の思想を語った最初の人、老子・荘子である。

# 7、柁尾の明恵上人

- 孔子は「鳥や獣とは一緒に暮らすわけにはいかない。人間の仲間と一緒にいるいがいにはない」（『論語』第18微子）という、人間としての常識を語った。
- しかし非常識にも真実がある。柁尾の明恵上人は、馬にあいさつをする奇人として『徒然草』に登場する。
- 承久三年の乱で、敗北した公卿や武士が高山寺に隠れた。将軍北条泰時の部下、秋田城介義景は明恵上人を六波羅に拉致した。

## 8、泰時、仰天して、上にすえ奉る

- 軍勢、堂上堂下に充満せり。
- 義景、上人を先に立て、彼〔泰時〕の前に至りて事の由を申す。
- 泰時、先年六波羅に住せられし時、上人の徳を聴き及び給いしかば、先ず仰天して、敬い、畏みて席を去りて上にすえ奉る。

# 9、即時に、愚僧が首をはねらるべし

- 高山寺に落人多く隠し置きたりという沙汰の候なる。それは、さぞ候らん。・ ・ ・
- この山は三宝寄進の所たるによりて、殺生禁断の地なり。
- 鷹に追わるる鳥、狩に逃ぐるけだもの、みなここに隠れて命を継ぐのみなり。
- されば、敵を逃がるる軍士の、木の本、岩のはざまに隠れ居候らわんをば、情けなく、追い出して候べき。袖の中にも、袈裟の下にも、隠してとらせばやとこそ存じ候しか。向後々々も、助くべく候。
- これ、政道のために難儀なることに候はば、即時に、愚僧が首をはねらるべし。

# 10、馬にあいさつ・小鳥に説教

- 私たちは、人間一人一人が神の像であると断言しますが、だからと言って、被造物それぞれが固有の目的をもっているという事実を見落としてはなりません。
- 不要なものは何一つありません。 . . .
- 仲間である人間に対するやさしさや共感が心に欠けているならば、人間以外の自然との親しい交わりの感覚は本物ではありません。不要とみなされた他の人間をうちのめそうとしながら、絶滅危惧種の不法売買と戦うことは、明らかに一貫性を欠いています。ラウダート・シ84, 91

# 1 1、大根さんが成仏なさる

